



三年先の稽古

発行日：令和4年2月10日

文責：校長 星野 亜希

【た】たくましく健やかな生徒 【い】いのちを尊ぶ温かな生徒 【しん】真実と夢を追求する生徒

※大信中学校ホームページもあわせてご覧ください。

学級新聞より ～「時と場に応じた礼儀」について～

1月31日付けで学級新聞が発行されました。今回は、受験前ということで、1、2年生のみの発行でした。毎回、テーマについて各クラスの新聞委員の意見を読むことができますので私自身、新聞発行をとっても心待ちにしています。今回のテーマは「時と場に応じた礼儀について」です。3年生は、毎日放課後、県立高校の受験に向けて面接練習を行っています。3年生の頭の中では「時と場に応じて・・・」「礼儀」という言葉がグルグルと回っているのではないかと思います。学校では生徒の表現力の育成に向けて、自分の思いを自分の言葉で伝える機会をなるべく多く設定しています。1、2年生の新聞委員も礼儀について自分なりの考えをしっかりと書いていますのでご紹介します。また、パナソニックの創業者である松下幸之助さんの「礼儀」に関しての「メッセージ」を載せておきましたので、ご家庭で話題にしていいただければと思います。



みなさんは、これまで生きてきた中で「時と場」という言葉を聞いたことがあると思います。意味をおさらいしておく（知らないかもしれませんが）、「時と場」は、その時々とその場の状況という意味で、「時と場をわきまえろ」というのは、「その状況を見て適切な振る舞いをしろ」というかんじだと思います。この時と場というのは、これからの生活を送っていく上でとても重要なことだと思います。僕たちはこれからも集団で生活をしていくことになると思うので、周りを見て、察して、その場に合わせた態度や行動ができるように頑張ってみましょう。

礼儀が正しくできていないと相手からの印象が悪く見えてしまいます。人と接するとき、ふさわしい礼儀は「敬語を使う」という回答が多かったです。学級では時と場に応じた礼儀を大切にしていきたいです。

皆さん、礼儀とはどのようなことか分かりますか。礼儀とは対人関係での気配りや敬意、慎みの気持ちに基づく行動の規範です。例えば、家では「おはよう」と言うけれど、社会に出たら「おはようございます」と言って語先後礼をしなければなりません。それは、社会人だけでなく、中学校や高校に行っても礼儀は大切です。その時と場に応じた礼儀について、しっかり考えて行動しましょう。

・年上の人と話をするとき。

年上の先生や先輩などには敬語を使って話すようにしましょう。また、あいさつの声の大きさやあいさつした後の礼にも気をつけましょう。

・同級生と話をするとき

同級生だからといって言うてはいけないことを口にしてはいけないので気をつけて話をしましょう。

Message

松下幸之助(1894～1989)

礼儀作法というものは、決して堅苦しいものでも、単なる形式でもないと思います。それはいわば、社会生活における“潤滑油”のようなものと言えるのではないのでしょうか。

職場では、生活や年齢、ものの考え方など、いろいろな面で異なる人びとが相寄って仕事をしています。そのお互いの間をなめらかに動かす役割を果たすのが礼儀作法だと思うのです。

ですから礼儀作法というのは、“当然、心のこもったものでなければなりません、心に思っているだけでは潤滑油とはなり得ません。やはり形に表し、相手に伝わりやすくし、心と形の両面があいまった適切な礼儀、作法であってこそ、はじめて生きてくと思うのです。

〈私たちの道徳 中学校 文部科学省〉より抜粋

福島県立高校前期選抜出願受付終了

8日（火）に県立高校前期選抜の出願受付が締め切られ、9日には新聞等で各高校の志願者状況が発表となりました。自分が希望する高校や白河市内、白河市に隣接する地域の高校の状況について、目を通してほしいと思います。3年生は、本日10日（木）最後の実力テストが行われました。入試の出題形式に近い入試予想問題での模擬試験です。3年生の実力テストに対する緊張感ある取組に、「いよいよだな。」という気持ちになりました。